

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサートプロダクト4	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート舞台コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	Vector Works 2019 Student edition microsoft office (特にExcel) google driveなど				
担当教員情報					
担当教員	山下顕治	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
<p>アイデア抽出におけるブレインストーミングにおいて、リサーチの幅を拡大していきます。既に実施して習得したとされる作業や資料作成の為に活用したVector WorksやExcelのスキルに対し、スピードとクオリティをあげ、また反復性と拡張性を求めていきます。それにより、当該分野である音楽業界のみならず、パソコンスキルやコミュニケーションスキルが欠かせないと言われる、ほぼ全ての業界に向けても必要最低限の知識技術を培うことを目的とします。またコミュニケーション能力の向上の為に、何が必要であるかを見極め、それに必要な取捨選択を出来るような判断力を身に付けるために、PDCAを繰り返し実施し、自ら考え、挑戦していける人材になることを目的とします。</p>					
到達目標					
<p>かまた祭、卒業ライブと観客の層を更に広げたものを意識したコンサートの成功を目指します。本番のクオリティだけではなく、アイデアを出し合うブレインストーミング、デザインや演出内容の判断基準をあげていきます。社会人としての目標である就職先でのルールに適用する技術とスピード、コミュニケーション能力などの向上を目指します。製作課程における様々な困難に対して実施した試行錯誤、コンサートの成功の為に必要な責任感、成功から得られる達成感を、今後の自分の職業や人生において活用し、人間力を高めていくことを目標とします。</p>					
教育方法等					
授業概要	より対外的なコンサートやイベントの実施に関わることとなります。学生の学びの場から、成果発表へのステージアップが図られていきます。最終的な評価はコンサートの成功とされ、本質的な部分では観客の印象が評価となります。製作課程の様々な状況は、互いのスキルアップによって、より複雑化していきます。求められるのは他のセクションを統率していく為の説得力と実行力となります。説得力を身に付けるには感性や感覚だけではなく、理論に裏付けされたアイデアの修得、実行力には作業の精度と速度を高める反復力が不可欠です。				
注意点	より対外的なコンサートやイベントの実施に関わることとなります。学生の学びの場から、成果発表へのステージアップが求められます。最終的な評価はコンサートの成功であるので、本質的な部分では観客の印象が評価となります。製作課程の様々な状況、更なるブラッシュアップを目指した際に派生する困難など、様々な対応を迫られる場面が増えていきます。生じる問題点や課題を発見し、改善に取り組み、解決できたかが評価のポイントとなります。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	30%	グレード実技試験（グループ）グループでの作業手順の習得度とチームワーク貢献度を確認します		
	小テスト	30%	グレード筆記試験を実施。手段や手法、必要資料の作成を通じての習得度を確認します		
	レポート	10%	実施したコンサートを振り返り、その製作過程と結果から得たもの、感じたものが内容となります		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	提示したアイデアや実作業におけるリーダーシップの発揮などは積極的な加点評価となります		
平常点	20%	出席点 スキルがあっても欠席や遅刻があっては、自分の実力は発揮できません			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	かまた祭プロジェクト立ち上げ	かまた祭スタッフ決定 各会場の部材の割り振り、不足部材の確保と製作プランの作成			
2回	かまた祭ライブ準備②	デザインアイデアの仮組 作業状態の確認、ステージセットデザインの決定			
3回	かまた祭ライブ準備③	タイムテーブル、進行表、図面を仮組を元に修正、決定したステージセットに必要なアイテムを製作			
4回	かまた祭ライブ準備④	テクニカルリハーサル 照明、音響とともに仕込、出演者なしのリハーサルで技術的な問題点を確認			
5回	かまた祭ライブ準備⑤	リハーサル 照明、音響とともに仕込、出演者ありでのリハーサル。本番の成功に向けた修正			
6回	かまた祭ライブ本番	片柳アリーナ、A-Stage、Box Stage、片柳記念ホールにて仕込、本番、撤収			
7回	卒業ライブ立ち上げ	卒業ライブスタッフ決定 様々なプランニング開始 スケジュール立案			
8回	卒業ライブ1、2準備①	デザインアイデア、タイムテーブル、進行表、図面の作成、会場となるライブハウスの資料習熟			
9回	卒業ライブ1、2準備②	演出に特殊効果を組み込むための特殊効果のデモンストレーションと仕込			
10回	卒業ライブ1、2準備③	デザインアイデア、タイムテーブル、進行表、図面のブラッシュアップ			
11回	卒業ライブ1、2準備④	デザインアイデアの仮組 作業状態や作業手順の確認、ステージセットデザインの決定			
12回	卒業ライブ1、2準備⑤	タイムテーブル、進行表、図面を仮組を元に修正、決定したステージセットに必要なアイテムを製作			
13回	卒業ライブ1、2準備⑥	照明、音響とともにテクニカルリハーサル、出演者を加えてリハーサルを実施。本番に向けて修正			
14回	卒業ライブ1本番	卒業ライブ①本番（ON AIR EAST）			
15回	卒業ライブ2本番	卒業ライブ②本番（マイナビBLITZ赤坂）			